

平成26年度「確かな学力の定着度調査」の実施結果について

1 調査の目的

- (1) 学力調査により児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着度を検証するとともに、あわせて意識調査を実施し、学習に対する意識や家庭での生活習慣などと学力との相関関係を検証する。表面上の学力だけでなく、その根本にある意識面との相関関係を分析することで、児童・生徒の実態を正しく把握する。
- (2) 調査結果の分析により、区全体、学校、学年、学級、個々の児童・生徒の課題を把握し、授業や指導方法の改善、児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行うための資料として活用する。

2 調査内容の構成

『確かな学力の定着度調査』は、学習内容が身に付いているかどうかを把握する「学習到達度調査」と、学習に対する意欲や態度がどのように養われているかを図る「学習意識調査」から構成され、2つの調査結果の相関関係から、児童・生徒の学習状況の全体像を把握する。

(1) 学習到達度調査

基礎的な学力の定着の状況を見ることができるよう構成されている。

(2) 学習意識調査

学習に対する意欲や取組状況を中心に、家庭での生活習慣などをみることができるよう構成されている。このことで、学力の背景となる児童・生徒一人一人の学習意欲を把握する。

3 実施状況

(1) 実施日 平成26年4月15日(火)

(2) 実施教科等

小学校4年	国語・算数・意識調査
小学校5・6年生	意識調査
中学校1年	国語・算数・意識調査
中学校2・3年	意識調査

(3) 受検者数

【小学校】

		4年	5年	6年
学習到達度調査	国語	3216人		
	算数	3215人		
学習意識調査		3214人	3362人	3376人

【中学校】

		1年	2年	3年
学習到達度調査	国語	2872人		
	数学	2872人		
学習意識調査		2873人	2891人	2807人

4 学習到達度調査の結果（区全体）

今回の調査では、その学年の目指すべき学習の目標値を設定し、その目標値を達成できている児童・生徒の割合を「達成率」として集計・分析した。調査の分析にあたっては、当面の達成率の目安を70%と設定した。

「達成率」については、目標値（基礎が身に付いていると判断できる値）を超えている児童・生徒の人数の割合を指している。平均点とは異なることに注意が必要である。

例：基準点70点の場合、10人中8人が90点で、2人が60点の場合→達成率は80%（平均は84点）

例：基準点70点の場合、10人中9人が85点で、1人が75点の場合→達成率は100%（平均は84点）

〔数値の見方〕例：平成26年4年国語「基礎」58.6%

100人の児童のうち、基礎が身に付いていると判断できる児童数は58.6人。

（1）小学校4年生の達成率・正答率一覧（区全体）

		達成率		正答率
		本校	葛飾区	葛飾区
国語	基礎		58.6	67.6
	活用（応用）		62.7	60.2
	話す・聞く能力		56.7	79.2
	書く能力		47.0	41.0
	読む能力		68.5	67.1
	言語についての知識・理解・技能		59.8	70.8
算数	基礎		75.2	79.5
	活用（応用）		56.7	50.1
	数学的な考え方		64.2	55.3
	数量や図形についての技能		73.9	75.0
	数量や図形についての知識・理解		72.2	78.4

○達成率による分析

【国語】

- 〔基礎〕 ・70%を下回っている。
・昨年度と比べるとやや上回っている。
- 〔活用〕 ・70%を下回っている。
・昨年度と比べると上回っている。
- 〔観点別〕 ・全ての観点で、70%を下回っている。

【算数】

- 〔基礎〕 ・達成率が70%を超えており、概ね満足できる状況である。
・昨年度と比べるとやや下回っている。
- 〔活用〕 ・70%を下回っている。
・昨年度と比較するとやや上回っている。
- 〔観点別〕 ・「数学的な考え方」は、70%を下回っている。
・「数量や図形についての技能」、「数量や図形についての知識・理解」は、70%を上回っている。

(2) 中学校1年生の達成率・正答率一覧(区全体)

		達成率		正答率
		本校	葛飾区	葛飾区
国語	基礎		61.0	65.8
	活用(応用)		59.5	57.1
	話す・聞く能力		63.4	70.2
	書く能力		62.0	61.0
	読む能力		57.7	59.6
	言語についての知識・理解・技能		59.6	65.1
算数・数学	基礎		51.4	63.2
	活用(応用)		50.9	45.9
	数学的な見方や考え方		45.5	47.2
	数学的な技能		55.2	66.3
	数量、図形などについての知識・理解		43.9	51.9

○達成率による分析

【国語】

- 〔基礎〕
 - ・70%を下回っている。
 - ・昨年度と比べると大きく下回っている。
- 〔活用〕
 - ・70%を下回っている。
 - ・昨年度と比べるとやや上回っている。
- 〔観点別〕
 - ・全ての観点で、70%を下回っている。

【算数・数学】

- 〔基礎〕
 - ・70%を下回っている。
 - ・昨年度と比べると大きく下回っている。
- 〔活用〕
 - ・70%を下回っている。
 - ・昨年度と比べると大きく下回っている。
- 〔観点別〕
 - ・全ての観点において、70%を下回っている。
 - ・昨年度と比べると全ての観点において大きく下回っている。

5 学習意識調査の結果（一部抜粋）

※ 各設問ごとに、「とても」「まあ」「あまり」「まったく」の回答のうち、「とても」「まあ」の肯定的な回答をした児童・生徒の割合。

■小学校

出題内容		4年生		5年生		6年生	
		葛飾区	本校	葛飾区	本校	葛飾区	本校
教科の好き嫌い	国語	61.0		61.1		64.3	
	社会	58.1		56.3		63.3	
	算数	73.3		66.8		63.9	
	理科	84.8		82.3		77.5	
	音楽	76.6		76.4		75.9	
	図画工作	87.2		89.1		85.4	
	体育	88.6		85.1		83.2	
	総合的な学習の時間	75.0		78.6		79.7	
	道徳	66.6		67.3		67.4	
	学級活動	79.5		82.4		83.6	
	家庭					76.1	
教科の理解度	国語	81.5		85.5		85.7	
	社会	77.3		78.4		80.5	
	算数	85.7		84.2		78.3	
	理科	88.6		89.7		86.4	
	音楽	83.8		86.1		85.1	
	図画工作	90.9		93.2		91.2	
	体育	91.6		91.7		89.2	
	家庭					83.1	
	英語						
学校に行くのが楽しい		75.6		77.7		76.9	
授業を集中して受けている		83.5		86.6		82.3	
朝食は毎日食べている。		95.4		95.7		94.8	
近所の人に会ったとき挨拶をしている		76.4		79.3		79.7	
平均学習時間(分)	平日	69.0		76.0		88.0	
	休日	45.0		52.0		64.0	
読書習慣（1ヶ月の平均冊数）		9.7		7.9		6.2	
テレビを見る時間(分)	平日	103.0		114.0		118.0	
	休日	117.0		128.0		136.0	
ゲームをする時間(分)	平日	52.0		53.0		55.0	
	休日	70.0		70.0		73.0	

(1)「教科の好き嫌い」

- ・ 4～6 学年の「好き」の割合が、すべての学年で 80%を上回っている教科等は、図画工作、体育であり、すべての学年で 70%を下回っている教科等は、国語、社会、道徳である。
- ・ 算数、理科は、学年が上がる毎に「好き」の割合が大きく減少している。

(2)「教科の理解度」

- ・ 4～6 学年の「理解度」の割合は、すべての学年で 70%を上回っている。特に、国語、理科、音楽、図画工作、体育、家庭は、すべての学年で 80%を上回っている。

(3)「学校へ行くのが楽しい」

- ・ すべての学年において 75%を上回っている。

(4)「授業を集中して受けている」

- ・ すべての学年において 80%を上回っている。

(5)「朝食を毎日食べている」

- ・ すべての学年で 90%以上の児童が、朝食は毎日食べている。

(6)「近所の人と会ったとき、あいさつをしている」

- ・ 4、6 年生で昨年度の値を下回り、5 学年で昨年度の値を上回っている。

(7)「平均学習時間」

- ・ 平日で 69～88 分程度、休日で 45～64 分程度、学校外で学習している。
- ・ 学年が上がるにつれ、学習時間が増加している。
- ・ どの学年も、休日の平均学習時間が平日の平均学習時間に比べ、少ない。

(8)「読書習慣」

- ・ 1ヶ月の冊数は、6.2～9.7 冊である。
- ・ 学年が上がるにつれ、1ヶ月に読む本の平均冊数は減少している。

(9)「テレビを見る時間」

- ・ 平日で 103～118 分程度、休日で 117～136 分程度、テレビを見ている。
- ・ 学年が上がるにつれ、テレビを見る時間が増加している。

(10)「ゲームをする時間」

- ・ 平日で 52分～55分程度、休日で 70分～73分程度、ゲームをしている。
- ・ 学年が上がるにつれ、ゲームをする時間が増加している。

■ 中学校

出題内容		1年生		2年生		3年生	
		葛飾区	本校	葛飾区	本校	葛飾区	本校
教科の好き嫌い	国語	56.7		61.2		63.1	
	社会	58.5		60.4		61.1	
	数学	58.6		53.9		56.6	
	理科	67.7		56.3		58.1	
	音楽	70.8		72.2		75.0	
	美術	69.5		66.0		66.4	
	保健体育	72.1		72.6		71.9	
	技術			63.3		62.8	
	家庭	68.4		60.3		64.5	
	総合的な学習の時間	76.6		66.3		70.2	
	道徳	60.8		55.0		57.2	
	学級活動	80.2		68.8		72.9	
	英語			58.2		56.5	
	教科の理解度	国語	80.8		74.4		71.6
社会		75.9		65.8		62.8	
数学		76.0		66.2		64.3	
理科		78.9		58.8		58.6	
音楽		81.8		77.9		76.2	
美術		77.4		71.6		71.6	
保健体育		84.1		77.6		77.8	
技術				66.4		64.3	
家庭		78.6		68.8		70.5	
英語				63.3		59.6	
学校に行くのが楽しい		84.5		75.5		75.3	
授業を集中して受けている		92.9		82.6		86.2	
朝食は毎日食べている。		94.8		92.5		91.1	
近所の人に会ったとき挨拶をしている		82.0		73.4		78.3	
平均学習時間(分)	平日	72.0		79.0		92.0	
	休日	48.0		58.0		72.0	
読書習慣(1ヶ月の平均冊数)		4.2		3.4		2.9	
テレビを見る時間(分)	平日	120.0		115.0		109.0	
	休日	139.0		143.0		140.0	
ゲームをする時間(分)	平日	54.0		49.0		43.0	
	休日	72.0		69.0		61.0	
熱心に部活に参加している				68.0		65.2	

(1)「教科の好き嫌い」

- ・すべての学年において、「好き」の割合が70%を超えている教科は音楽、保健体育である。

(2)「教科の理解度」

- ・1～3学年のすべての学年において、「理解度」の割合が70%を超えている教科は、国語、音楽、美術、保健体育である。
- ・保健体育、家庭以外の教科において、学年が上がるにつれ「理解度」の割合が下降している。

(3)「学校へ行くのが楽しい」

- ・1～3学年のすべての学年において、割合が75%を上回っている。
- ・1学年では84.5%と、小・中学校において一番高い割合となっている。

(4)「授業を集中して受けている」

- ・1学年では92.9%と、小・中学校において一番高い割合となっている。

(5)「朝食は毎日食べるようにしている」

- ・全ての学年で90%を上回っている。

(6)「近所の人と会ったとき、あいさつをしている」

- ・全ての学年で70%を上回っている。
- ・1年生では82.0%と、小・中学校において一番高い割合となっている。

(7)「平均学習時間」

- ・平日で72～92分程度、休日で48～72分程度、学校外で学習している。
- ・1, 3学年においても、平日、休日ともに昨年度と比べ、学習時間が減少している。

(8)「読書習慣」

- ・1～3学年の1ヶ月の平均冊数は、2.9～4.2冊である。
- ・学年が上がるにつれ、1ヶ月に読む本の平均冊数は減少している。

(9)「テレビを見る時間」

- ・平日で109～120分程度、休日で139～143分程度、テレビを見ている。

(10)「ゲームをする時間」

- ・平日は43～54分程度、休日は61分～72分程度、ゲームをしている。
- ・平日、休日ともに学年が上がるにつれ、ゲームをする時間が減少している。

6 今後の分析と取組

【教育委員会】

- (1) 校種・教科別「結果検討会」の実施
- (2) 「学習到達度調査」と「学習意識調査」の相関関係の分析
- (3) ホームページによる公表

【各学校】

- (1) 自校の「学習到達度調査」の分析
- (2) 自校の「学習意識調査」の分析
- (3) 自校の「学習到達度調査」と「学習意識調査」の相関関係の分析
- (4) 児童・生徒及び保護者に対する結果の通知ときめ細かな指導の推進
- (5) 授業改善推進プランの作成および検証
- (6) ホームページによる公表